

事故報告書【請負業者用】 記入要領

【別紙（１）】

- 工事名 : 工事の契約件名を記入して下さい。
- 事故発生年月日 : 事故発生日時を記入して下さい。
- 元請
社名 : 元請会社の名前を記入して下さい。
建設業許可番号 : 建設業許可番号（大臣あるいは知事許可番号）を記入して下さい。
ア．大臣許可、知事許可
大臣許可の時は00、知事許可の場合は02～93、「大臣・知事コード（表１）」の中から選択して下さい。
イ．番号
許可番号を記入して下さい。
番号が12等の6桁未満の場合、頭に0000を付けて6桁000012として下さい。

【例】 [00・123456 、 27・001234]

電話番号 : 会社の電話番号を記入して下さい。

- 事故発生状況
事故概要 : 当該現場において被災者の事故に至る経緯と状況を記入して下さい。

【例】 現道拡幅工事で中央車線部の路盤工を施工中であった。当時はダンプで運搬した路盤材を小型ブルドーザーで敷き均す作業を行っていた。後方を確認せずにブルドーザーを後進させた作業員を轢き殺してしまった。

他の作業状況
: 事故当日、当該作業現場以外で行われていた作業内容を記入して下さい。

【例】 南側側道部において防護柵（ガードフェンス）を取り付けていた。北側側道部では排水溝ブロック（コンクリート二次製品）及び縁石ブロックを設置していた。工事区間の前後では、一般車両と通行人が侵入してこないように迂回路への交通誘導をしていた。

当該作業の指示内容と指示方法（事故当日）
: 事故当日、作業員に伝達した当該作業の指示内容と指示方法を記入して下さい。

【例】 当日の朝礼で、敷き均しする作業員に 敷き均し作業を行う場合にはブルドーザーの後ろに立たないこと、常にブルドーザーから距離を保って作業することの2点を口頭で指示した。

当該作業に伴う安全上の注意事項の伝達内容（事故当日）
: 事故当日、作業員に伝達した安全上の注意事項について記入して下さい。

【例】 ダンプ及びブルドーザーを後進させる場合、誘導員が後方に人がいないことを確認した後に運転手に合図を送り作業させること、作業員はダンプ、ブルドーザーに背を向けないよう伝達した。

- 工事全体の進捗度
: 事故当日までの工事全体の計画での進捗度と実績の進捗度を記入して下さい。

【例】 計画 50% 実績 40%

- 当該作業の進捗度
: 事故当日までの当該作業の計画での進捗度と実績の進捗度を記入して下さい。

【例】 計画 60% 実績 20%

○人的要因・共通要因

- ・当該現場関係者が、それぞれの関係者にどのように状況を判断して行動を起こした結果、事故に至ったかを聞き取り調査して記入して下さい。
- ・危害を加える行為をした者、危害を受けた者、自らの行動で被災した者ごとに、どれかひとつに をし、更に人数を記入して下さい。
- ・以下に示す事故に直接関係した者（当該現場関係者に限る）を対象に当該事故にあてはまる関係者について記入して下さい。
- ・事故に直接関係した者
危害を加える行為をした者

【例】 後方確認を怠って他の者に危害を加えたダンプ運転手 等

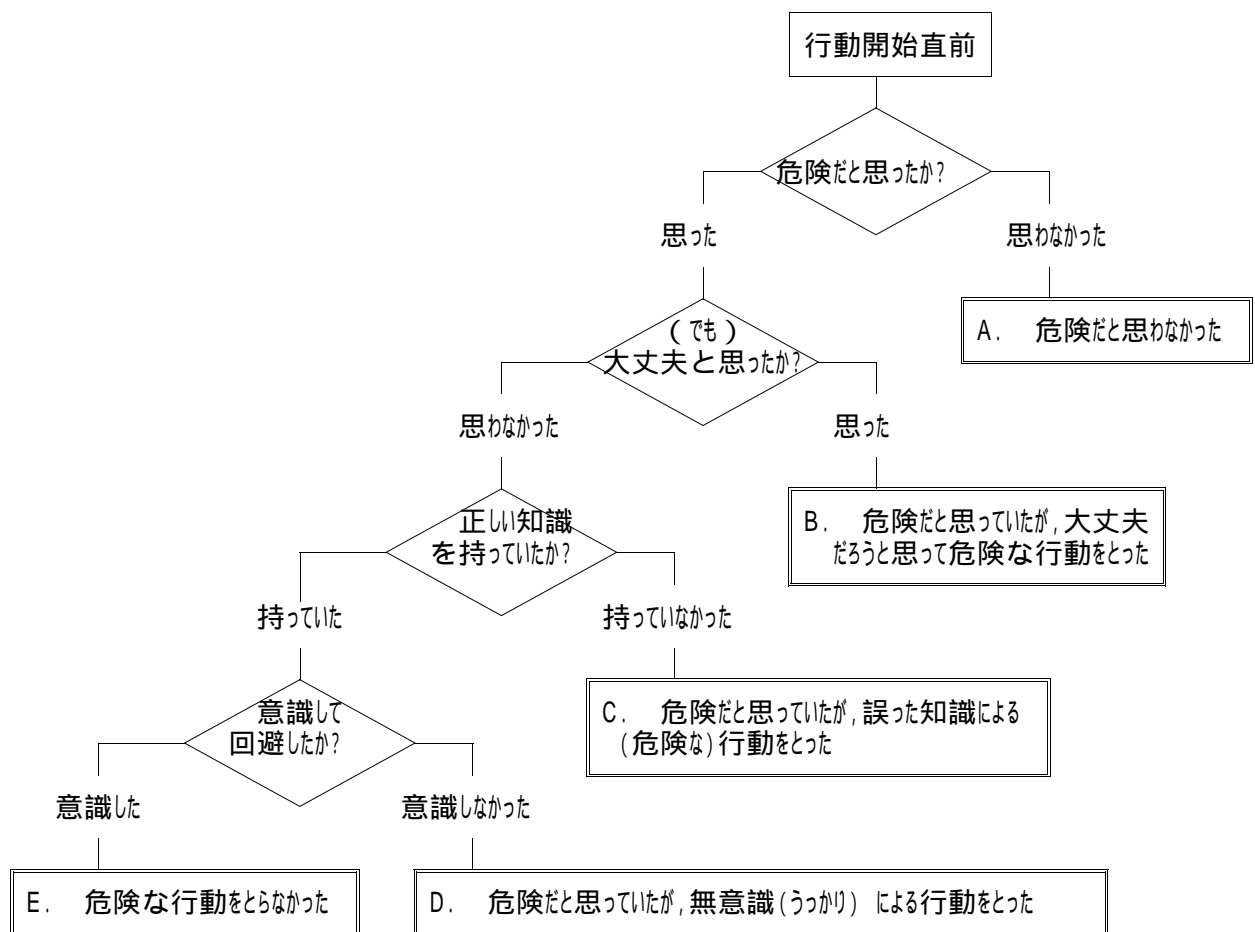
危害を受けた者

【例】 ダンプの後方移動に気づかずにダンプに轢かれた作業員 等

自らの行動で被災した者

【例】 足場移動時に安全帯を外して墜落した作業員 等

- ・次頁のフローを参考にして下さい。



(注) このフローの目的は事故に至る過程を追跡することであり、要因を調べるのが目的ではありません。

○人的要因、物的要因並びに管理的要因

関与度の高い順に最大4つまで「要因コード（表2）」から選んで記入して下さい。
該当するコードがない場合には、「その他」の〔 〕内にその内容を記入して下さい。

【例】 危害を加える行為をした者が2名、及び危害を受けた者が1名いた場合

人的要因・共通要因 事故関係者毎にどれ か一つに、 更に人数を記入する	危害を加える行為をした者	A	2	B		C	
	危害を受けた者	A		B	1	C	
	自らの行為で被災した者	A		B		C	

【例】

1．人的要因	危害を加える行為をした者	02	24	21		その他〔 〕
	危害を受けた者	03	05			その他〔 〕
	自らの行為で被災した者					その他〔 〕
2．物的要因	22	03				その他〔 〕
3．管理的要因	10	14	07	12		その他〔 〕

○事故の要因 : 被災者が事故に遭った要因を記入して下さい。

【例】 安全工程打合せで指示していた後方確認をせずブルドーザーをバックさせたことが主要要因である。

○事故の背景 : 被災者が事故に遭った背景について記入して下さい。

【例】 交通誘導員が現場を離れていたため、工事区間内に誤って歩行者が入り込んだ。このため、本来はブルドーザー後方の安全を確認するべき誘導員が、この歩行者を工事区間外へ誘導しようとして、ブルドーザー後方での作業への注意がおろそかになった。

○当該作業に関する指示系統

当該作業において、指示系統がどのようになっていたかを記入して下さい。
（元請け、下請けの体制ではなく、指示の関連を記入して下さい。）

下請け回数

: 下請け社は回数を記入して下さい。

役職コード

: 当該作業組織上の責任者の「役職コード（表3）」を記入して下さい。

被害者、加害者区分

: 被害者は、危害を加える行為をした者は×を記入して下さい。

事故発生時の行動区分

: 事故が発生したときの「行動区分コード（表4）」を記入して下さい。

事故発生時の行動内容

: 事故発生時の行動を記入して下さい。

年齢

: 当該者の年齢を記入して下さい。

当該作業に係わる所有資格・免許

: 当該作業に係わり所有する「資格・免許コード（表5）」を記入して下さい。

役職に対する実務経験年数

：選択した役職での実務経験年数を記入して下さい。

資格・免許取得後の実務経験年数

：資格取得後の実務経験年数を記入して下さい。

現場経験年数

：他の作業所を含めた現場経験年数を記入して下さい。

入場日数

：当作業所での入場日数を記入して下さい。

他の作業の下請け（ ）次、作業員（危害を加える行為をした者）

：他の作業現場の関係による被害を受けた場合に記入してください。

この場合、「被災者： 危害を加える行為をした者：×」の欄には、
×を記入して下さい。

当該作業現場の周辺状況

：該当する項目に を記入して下さい。

○被害の状況

被災者氏名

：被災者の氏名を記入して下さい。

性別

：該当する項目に を記入して下さい。

現場経験年数

：被災者の現場作業の経験年数を記入して下さい。

入場日数

：被災者の当該現場での新規入場後の作業日数を記入して下さい。

事故歴の有無とその内容

：該当する項目に を記入して下さい。

事故歴がある場合には、その事故内容を記入して下さい。

社員・季節労働者の別

：該当する項目に を記入して下さい。

なお、被災者が下請社員の場合は、（ ）内にその次数を記入して下さい。

【別紙（２）】

○安全教育の実施状況

現場全体

「新規入場者・作業変更者」「作業員」「その他」ごとに、「a．内容」「b．教材」「c．実施頻度」ごとに、「安全教育コード（表６）」より選択して記入して下さい。該当するコードがない場合には、「その他」の〔 〕内にその内容を記入して下さい。

【例】 対象者 「新規入場者・作業変更者」
a．内容 : 作業手順（03）、事故時の応急処置（07）、安全装置（02）について
b．教材 : スライド（02）を用いて
c．実施頻度：随時（01）実施していた

安全教育	対象者	a．内容	b．教材	c．実施頻度
コード	新規入場者・作業変更者	(03)(07)(02)	(02)()	(01)

また、安全教育の実施内容については、「内容」の欄へ具体的にその内容を記入して下さい。

【例】 安全保護具、各種機械の安全装置が支障なく作動するか否かについてチェックした。さらに、作業が指示どおりに行われているかどうか点検した。

当該作業

記入方法は「現場全体」と同じです。

○安全対策の実施状況

現場全体

安全対策の実施状況を「安全対策コード（表７）」より選択して、「ハード面」「ソフト面」のそれぞれについて記入して下さい。
該当するコードがない場合には、「その他」の〔 〕内にその内容を記入して下さい。また、安全対策の実施内容については、「内容」の欄へ具体的にその内容を記入して下さい。

当該作業

記入方法は「現場全体」と同じです。

【例】
ソフト面 : 主に危険予知（KY）活動（02）、安全朝礼（10）に重点をおいた。
ハード面 : 主に作業帯区画バリケード（01）の設置、立入禁止区域を設定（06）、第三者への注意標識（03）の設置に重点をおいた。

安全対策	ソフト面：(02)(10)() その他〔 〕
コード	ハード面：(01)(06)(03) その他〔 〕

○安全点検の実施状況

現場全体

安全点検の実施状況を「安全点検コード（表８）」より選択して、「１．人的面」「２．物的面」「３．管理面」「４．環境面」のそれぞれについて記入して下さい。
該当するコードがない場合には、「その他」の〔 〕内にその内容を記入して下さい。また、安全点検の実施内容については、「内容」の欄へ具体的にその内容を記入して下さい。

当該作業

記入方法は「現場全体」と同じです。

【例】

- １．人的面：主に保護具(01)の点検、健康診断(02)を実施していた。
- ２．物的面：作業工具(04)の点検をしていた。
- ３．管理面：作業内容の確認(01)、作業手順の確認(02)を実施していた。
- ４．環境面：作業場所(01)の点検をしていた。

安全点検 コード	１．人的面：(01) (02) () その他〔 〕
	２．物的面：(04) () () その他〔 〕
	３．管理面：(01) (02) () その他〔 〕
	４．環境面：(01) () () その他〔 〕

○事故後の現場全体の措置改善事項等

：事故後の現場全体で実施された改善事項等を記入して下さい。

【例】

事故後、現場の安全体制を強化するため誘導員を３名増やした。
さらに誘導員全員に無線機を携帯させ、誘導員間で常時連絡がとれるようにした。また、作業員全員に建設機械の近くに入らないように指示を出した。

○事故後の当該作業の措置改善事項等

：事故後の当該作業で実施された改善事項等を記入して下さい。

【例】

事故後、現場の安全体制を強化するため誘導員を３名増やした。
さらに誘導員全員に無線機を携帯させ、誘導員間で常時連絡がとれるようにした。また、作業員全員に建設機械の近くに入らないように指示を出した。